

# 市政トピックス

## 在新潟中国総領事館の王華総領事が吉田市長を訪問

9月16日、王華（おう・か）在新潟中国総領事館総領事が吉田市長を訪問し、会談を行いました。



在新潟中国総領事館の王華総領事と会談する吉田市長

今回の訪問は、吉田市長が7月下旬に新潟中国総領事館を訪問した際、王総領事が語った「胎内市を訪ねてみたい」との思いを実現したものです。

会談には、日中友好交流の会胎内支部副部長の小野貴史氏らも加わり、胎内市と中国黒竜江省の緩化（すいか）市との交流を推進していくことを確認しました。

王総領事は大勢の市職員が拍手で出迎えたことに謝意を表した後、胎内市の印象について「すばらしい所ですね」と話し、友好交流には「全面的にバックアップします」と力強く話すと、吉田市長も「交流協議を進めるため、再度訪中したい」とこたえました。

## 交通事故にご注意を《秋の全国交通安全運動》



胎内市交通指導隊の佐藤徳治副隊長が「これから出動します」と市長へ報告

秋の全国交通安全運動（9月21日～30日）の初日に当たる21日朝、市役所本庁舎内で出発式が行われました。佐藤昇胎内警察署長はあいさつで、「今年の県内における交通事故の死者数は78人と前年比4人増、そのうち高齢者の占める割合が約半数」

などと参加者に注意を呼び掛けました。出発式を終えると、交通車両によるパトロールや、交差点、横断歩道などで街頭指導を行いました。夕暮れ時は、自転車・自動車等の運転者は、早めにライトを点灯し、歩行者は夜光反射材を活用し、交通事故に遭わないよう気を付けましょう。



本庁舎前の道路脇で「シートベルト着用」を呼び掛け

## 子宮頸がんは予防できます！

市が10月から開始する「子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成」に先立ち、8月27日、子宮頸がん予防に向けた講演会が開催されました。



子宮頸がんの予防法などについて語る佐々木綾子氏

講師は、産婦人科勤務医として23年のキャリアを持つ村上保健所長の佐々木綾子氏で、子宮頸がん予防ワクチンの有効性や、子宮頸がんは性交渉によって感染するヒトパピローマウイルス（HPV）が原因であることから、思春期の子どもの性活動の現状等についても、調査結果を交えて、詳しくそして丁寧に話していただきました。

参加された方々からは、「とてもわかりやすい内容でよかった」「年ごろの娘を持つ親として迷うこともたくさんあるが、これからは迷わずストレートに何でも語り合いたい」などの感想が寄せられました。

『子宮頸がん予防ワクチン

接種を受ける機会があれば、子どもさんに受けさせたいか』という講演後のアンケートでは、ほとんどの方が受けさせたいと回答しています。

子宮頸がんについて正しい知識を得るとともに、親として思春期の子どもたちに接する心構えなどについて学びの多い講演会でした。

### 子宮頸がん

子宮の入り口にできるがん。感染してからがんが発症するまでには、5～10年以上かかります。

ワクチン接種により約7割のHPV感染が予防でき、その効果は約20年間継続するといわれています。日本では昨年未からワクチン接種が可能となりました。